

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

402

地域自殺対策強化事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	4	精神保健対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		保健所費	
	大事業		保健所事業	
中事業		地域自殺対策強化事業		

事業種別	継続	関連個別計画	いのち支える自殺対策計画、地域保健医療計画		
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	保健対策課	豊田 忠彦	488-5104
事業実施の根拠法令	自殺対策基本法 自殺総合対策大綱	関連課			

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
事業目的	「誰も自殺に追い込まれることのない、いのち支える和歌山市の実現」を理念として、自殺対策を「生きることの包括的な支援」として総合的に実施し、市民のいのちを守る取り組みを推進する。		自殺を考えている個人に対して、自殺を防ぐために相談窓口の周知やうつ病等の早期発見・早期治療を目指した相談支援を行う。そして地域全体への取り組みとして、自殺対策やゲートキーパー、精神疾患についての正しい知識の普及を図るための研修会開催や普及啓発活動を実施する。また若年層対策として教育委員会と連携し各種事業に取り組む。さらに和歌山市いのち支える自殺対策計画の進捗について管理し、全庁的に取り組む。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		うつ病夜間相談事業、人材養成事業、普及啓発事業、若年層対策事業について実施した。	うつ病夜間相談事業、人材養成事業、普及啓発事業、若年層対策事業について実施した。	うつ病夜間相談事業、人材養成事業、普及啓発事業、若年層対策事業、そして自殺対策にかかる推進協議会を設置し、自殺対策計画策定事業等を実施した。	うつ病夜間相談事業、ゲートキーパー等の人材養成事業、普及啓発事業、若年層対策事業を実施し、いのち支える自殺対策推進協議会を開催する。	うつ病夜間相談事業、ゲートキーパー等の人材養成事業、普及啓発事業、若年層対策事業を実施し、いのち支える自殺対策推進協議会を開催する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	4,193	4,186	3,682	3,724	6,729	5,909	3,423	0	3,423	0	
伸び率(%)	26.2%	31.1%	△12.2%	△11%	82.8%	58.7%	△49.1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	20,983	30,203	28,156	30,230	30,130	28,532	29,411	0	29,411	0
	正規職員以外	1,364	3,146	4,767	4,336	4,535	5,152	4,542	4,535	4,542	5,152
	小計	22,347	33,349	32,923	34,566	34,665	33,684	33,953	4,535	33,953	5,152
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	2,300	2,280	2,040	2,063	4,083	3,537	1,873	0	1,873	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	1,893	1,906	1,642	1,661	2,646	2,372	1,550	0	1,550	0	
所要人数(人)	正規職員	2.64	3.80	3.53	3.79	3.77	3.57	3.68	0.00	3.68	0.00
	正規職員以外	0.62	1.43	2.10	1.91	1.91	2.17	1.96	1.91	1.96	2.17
主な予算内訳	報酬 4,836千円 需用費 2,271千円 委託料 2700千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	うつ病夜間相談開催回数	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
活動指標	職員出前講座や専門研修等の研修会実施回数	回	目標値	9	9	9	9	9
			実績値	11	16	18		
			達成度(%)	122.2%	177.78%	200%	0%	%
成果指標	うつ病夜間相談件数	人	目標値	36	36	36	36	36
			実績値	14	20	22		
			達成度(%)	38.9%	55.6%	88.8%	0%	%
成果指標	職員出前講座や専門研修等の研修会参加人数	人	目標値	270	270	270	270	270
			実績値	303	394	598		
			達成度(%)	112.2%	145.9%	182.5%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>和歌山市では年間80人前後の方々自殺で亡くなられているため、開庁時間における相談対応はもとより、精神科医師によるうつ病に関する夜間相談の実施、自殺防止に関する啓発活動等のさらなる取り組みが必要である。また和歌山市のち支える自殺対策推進協議会やG-Pネット等の地域におけるネットワークを強化し推進させていかなければならない。</p> <p>平成28年に自殺対策基本法が改正され、生きることの包括的支援や、関連施策との有機的な連携を図り、地域レベルの実践的な取り組みを中心とする自殺対策の転換を進めるため、市町村において自殺対策計画の策定が義務付けられ、本市においても平成31年3月に計画を策定したところであり、今後も取り組みを強化する必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>自殺予防のための普及啓発やゲートキーパー養成のための研修会の実施について、出前講座の開催により多くの市民を対象とした形式をとることができた。研修実施回数、参加人数の指標について、出前講座を実施しているため目標値を変更した。</p> <p>若年層の自殺予防対策を推進するため、市教育委員会等と連携を深める取り組みを行った。</p> <p>平成30年度に策定した「和歌山市のち支える自殺対策計画」をもとに、それぞれの施策を推進するよう進捗監理を行い全庁的に取り組む必要がある。</p> <p>ゲートキーパーの更なる養成について、研修の周知方法など工夫がさらに必要である。また、自殺対策と生活困窮者支援の連携の強化を図るため「つなぐシート」を作成する必要がある。</p>